

## 「介護の日」キャンペーン 応募時点でのアンケート結果

1月1日に発生いたしました、令和6年能登半島地震により亡くなられた多数の方々のご冥福をお祈りし、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災者の皆様には一日も早い復興となりますようお祈り申し上げます。また、被災地への食品等供給に尽力されている会員企業はじめ食品メーカーの皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

さて、今回は昨年の「11月11日は介護の日」を契機に本会ホームページ上で実施した、「いい日、いい日、介護の日 UDF プレゼントキャンペーン」にご応募の皆様から UDF に関するアンケートへお答えいただいた結果をご紹介します。

今回の「介護の日キャンペーン」応募者は12,381件で、昨年の11,013件から112%増と、本会がこれまで行ったホームページキャンペーンでの過去最多数となりました。ちなみに、「UDFの日」の応募者数は9,296件でした。この結果は、「介護の日」の認知率の高さを背景に、本キャンペーンへ関心が集まったことによるものと思われる。

では、アンケート結果を見てみます。まず、応募者の年齢層をみると、30代28%（前回35%）、10代27%（同1%）、40代19%（同29%）、20代11%（同10%）、50代10%（同17%）、60代4%（同6%）、70代以上1%（同2%）の順でした。これまでのキャンペーン（「UDFの日」も含む）では、30、40代が上位の傾向にあり、今回もそのような結果となっておりますが、異なる点としては10代の応募が急増したことが特徴的でした。プレゼントの効果もあったかもしれませんが、本キャンペーンを通じて、多くの世代の方々がUDFや介護食の存在を知るきっかけにできたと考えます。

次に、UDFの認知度についてですが、これは「知っている」65%（前回39%）、「知らなかった」35%（同61%）であり、これまでとは逆転の結果となりました。また、「介護者の有無」を問う設問ではそれぞれ「はい」66%（前回50%）、「いいえ」34%（同50%）と、今回は「介護者有り」の比率が増加しました。UDF認知度の高まりに沿う結果とみられそうです。

また、「今後のUDF利用」については、ぜひ利用したい26%（前回20%）、機会があれば利用したい60%（同68%）と、回答者の多くより好意的な回答をいただきました。

最後に本キャンペーンの認知機会についてみる

と、LINE公式アカウント23%（前回8%）、都営線広告21%（同3%）、本会ホームページ21%（同12%）、SNS広告（Facebook, Instagram）14%（同33%）、知人からの紹介12%（同17%）、懸賞サイト10%（同16%）の結果でした。公式LINEは、本キャンペーンの告知に活用していますが、前回のUDFの日よりLINE登録を経由したキャンペーン応募の動線を敷きましたので、それらのご登録者からも再度の応募が多くあったとみられます。また、交通広告を通じて本会ホームページを知り、そこから応募につながるケースも多かったようです。

本会では、今後もこのような活動を継続し、UDFの認知率を向上させていくことができると考えております。



### 【会議、催事等の予定】

2月2日（金）令和5年度事業進捗状況報告会・特別講演会

2月5日（月）第51回新宿食支援研究会 WG

2月15日（木）、16（金）JSPEN2024

2月20日（火）～22日（木）メディケアフーズ展2024

### 【UDF商品登録状況（2,264品目・12月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とりみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	14	9	7	77	4	111
冷凍食品	343	279	788	30	0	0	1,440
常温食品	255	54	237	165	2	0	713
合計	598	347	1,034	202	79	4	2,264

### 【会員の異動（12月）】

計95社（12月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>